

## 建設経済常任委員会

平成十六年から家畜排せつ物の  
素掘りや野積み処理は禁止平成十五年度宮之城町一般  
会計予算の関係分

**問** 畜産業費のなかで、「宮之城町家畜排せつ物処理施設整備事業」の事業内容等は。

**答** 平成十六年十一月から、家畜排せつ物の素掘りや野積みでの処理が禁止されることになり、町単独事業で堆肥舎等を設置をする農家に補助を行う。支援対象農家としては、四〇戸から六〇戸の見込んでいる。

**問** 農業振興費のなかで、教育委員会では「食農教育」の推進に取り組んでいるが、米の消費拡大事業との連携は。また、給食センターが整備されることに伴い、地元農産物の供給態勢などはどう考えてい

るのか。

**答** 十四年度に、県が「鹿児島をまるごと味わう学校給食の日」を設定し、本町でも地元食材を使つての給食が実施され、とても好評だった。供給態勢については、地産・地消の立場からも、バックアップをしていきたい。

**問** 東谷町営住宅の建て替え事業が計画されているが、仮移転者の家賃等の問題は、どうなるのか。

**答** 仮移転者の場合、「宮之城町営住宅建替事業実施要綱」に基づき、移転先の家賃と現在の家賃と比較して、低い額を払ってもらふことになる。建て替え後の見込み家賃は、月額一万八、二〇〇円程度とな

る。戻り入居者の場合、五年間の傾斜家賃算定により、最も安い人で、五千円くらいとなる。

**問** 竹を生かした町づくりへの今後の取り組みは。

**答** 平成十一年度に、この活動が高く評価され、国土庁長官賞を受賞した。この時は、竹の町としてのソフト面の活動が評価されたと思う。次は、ハード面として、農家や関係者の所得向上に努める必要がある。

具体的には、タケノコについては、補助事業の導入により専用林の造成を進め、生産量の増大が図られてきている。名実ともに日本一早い「早掘りタケノコ」として、産地確立ができたと思う。また、転作田等を活用しての、収穫時期の違うリヨクチク・ダイミヨウチクにも取り組み、年間を通じたタケノコ生産により、所得向上を図っていきたい。年間を通じて、旬のタケノコ料理が食べられるような供給

態勢も検討したい。そして、食材だけでなく、花器などの工芸品の素材としての活用、さらには、竹炭や竹酢液の農業、環境、健康づくり面での活用法など研究していきたい。

平成十五年度宮之城町簡易  
水道事業特別会計予算

**問** 平川の水道料金が高く、下げたいといった話しを聞くが、格差をなくするとすれば、持ち出し等はどうなるのか。

**答** 同じ水であるということから、料金の格差を少しでもなくそうと取り組んでいる。平川地区は、建設費が高くついたことや、起債償還のピークが、平成十八年から二〇年にくること等が大きな問題である。今後も、簡易水道事業全体のなかで経費節減に取り組みながら、格差是正に努力したい。